

7-8 社会資本維持管理

対策検討推進本部

7-8-1 維持管理対策特別WG

1. 主な活動の記録

社会資本の維持管理・更新がより効率的に推進されるよう、協会として新たな技術の提案や維持管理・更新に係る全体システム等を発信していくための推進組織として「社会資本 維持管理対策検討推進本部」ならびに「維持管理対策特別 WG」を平成 25 年 6 月に設置した。平成 28 年度の主な活動記録は以下のとおりである。

(1) WG の開催

平成 28 年 4 月 5 日 WG 開催

平成 28 年 6 月 22 日 WG 開催

a) 道路橋メンテナンス技術講習会

- ・昨年度講習会の総括
- ・今年度講習会の開催方針
- ・採点方法の説明

b) 各種維持管理に関する動向報告

- ・土木学会テキストブック
- ・土木学会維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)
- ・国総研/土研意見交換会、共同研究

c) 平成 28 年度「要望と提案」の対応

(2) 道路橋メンテナンス講習会の開催

(建設技術センターとの共催・現場実習担当)

平成 28 年 5 月 31 日 (火) ～6 月 3 日 (金)

- ・専門講義(座学): 5 月 31 日(火)～2 日(木)
- ・現場実習、実技試験: 6 月 2 日(木)～6 月 3 日
※北海道ブロックのみ 6 月 10 日(金)

ブロック名	現場実習受講者数	
北海道	41 名	合計 432 名
東北	45 名	
北陸	35 名	
関東	68 名	
中部	49 名	
近畿	95 名	
中国	49 名	
四国	50 名	
九州	—	

*九州ブロックは「熊本地震」により開催中止

昨年度の課題の 1 つであった講習会受講者へのインセンティブに関して、達成度確認試験(「座学試験」ならびに「実技試験」)を実施し、合格者には(一財)橋梁調査会の「道路橋点検士補」の受験資格(学科試験のみ)が与えられることとなった。

(3) 土木学会刊行物への執筆協力等

a) 「社会インフラメンテナンス学」テキストブック部門別編

ダム、砂防、河川、海岸、道路、鉄道、港湾の各部門の執筆・編集に参画。電子書籍として平成 28 年 9 月に発刊。

b) 維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)

書籍の部分的な執筆、及びガイドライン講習会の講師として全般的にサポートした。

(4) 民間資格制度申請への支援

公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格規程に基づく、民間の技術者資格(RCCM)の登録申請を支援した。

(5) 土研との共同研究

国管理の道路橋定期点検のデータ分析等に基づき、新設橋における耐久性のばらつきを減少させるための対処項目や維持管理が容易かつ確実な構造となる予防対策の必要部位を特定し、統一的な構造細目や仕様を充実することを目的とした共同研究を実施中である。

2. 次年度の活動方針

平成 28 年度の活動を継続するとともに、保全事業全体の流れや手順、さらにはコンサルタントの役割について、維持管理業務として体系化が進められている道路構造物を主体に課題を明確にし、具体的な改善点を提言していく。また、体系化が進んでいない工種においても各工種に見合った適正な業務システムを提案する。

(社会資本維持管理対策検討推進本部本部長

長谷川 伸一)

(維持管理対策特別WG WG 長 高野 登)